

# 副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	産業部 ( 産業総務課 )
2 協議事項 (案件名)	産業人材の確保に向けた取り組みについて (UIJ ターン就職支援事業)
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、少子高齢化、景気の回復などの要因を受け、浜松地域の有効求人倍率は高い水準で推移しており、雇用動向としては深刻な人手不足の状況となっている。</li> <li>・実態調査 (H28.3) の結果を基に、市内企業の情報を発信する取り組みとして、市内企業が出展する学内セミナーや業界研究フェア、合同企業就職説明会等を開催。</li> </ul>
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知名度が高い大手企業は、大学3年生を対象としたインターンシップなどを通じてアクションを済ませており、就職活動解禁時には実質的な新卒人材の確保がされている。しかしながら、中小企業などの知名度が低い企業は、インターンシップや企業説明会への多くの学生参加が望めず、新卒者との実質的な接点も遅い。</li> <li>・就職活動に対する学生の意識は大きく3つに区分され、「早期から大手企業を中心にインターンシップや就活情報を入手し独自で積極的に就職活動している者」、「周りの雰囲気流されるなどしてなんとなく就職活動を行っている者」、「就職活動をしない者」に区分される。</li> <li>・UIJ ターン就職支援事業により市内企業へ就職したものを把握することが困難なことから、事業成果については合同企業説明会などの取り組みに対し、参加者数や出展企業数を成果としている。</li> </ul>
5-1 方向性の提案	<p>&lt;H30 新規事業&gt;</p> <p><b>①市内企業と転職希望者・学生マッチングアドバイザー派遣事業</b> 市内企業に精通したアドバイザー（浜松商工会議所）を首都圏等に派遣し、学生・転職者等の就職を個別に支援する。個別支援により市内企業へ誘導できる可能性は大きく、本取り組みを継続することで、その仕組みが定着し、大学等との信頼関係も深まり、より多くの学生を浜松へ就職させることができる。よって、今後も市内企業に精通した浜松商工会議所と連携し継続していく。</p> <p><b>②未来ビューin 浜松（マイナビ進学フェスタ×浜松市）</b> 進学する高校生のUターンを促進するため、大学等へ進学する前に市内企業の認知度を上げる取り組みを行う。認知度の高いマイナビ進学フェスタを活用した本事業は効果的かつ効率的な事業であり、今後もマイナビが継続的に事業を展開していくよう市として協力を継続していく。</p> <p><b>③市主催事業等参加者の就職実態調査（仮称）</b> 市主催の就職イベント参加企業へ、アンケート形式にてメール調査を行い、就職者数を事業成果として数値化していく。</p> <p>&lt;継続事業&gt;</p> <p><b>④UIJ ターン就職促進事業</b> 市内中小企業の要望もあり就職面接会や学内セミナーなどの就職イベントを継続し、中小企業の人材確保の場を創出する。また、大学のキャリア支援室や学生等から話を聞き事業に反映させていく。なお、参加学生を増やすためアドバイザー派遣事業①を活用し、訪問先大学で広報するほか、未来ビューin 浜松②で将来のUターン活動の活性化を図る。</p>

## 副市長レビュー（春）調書

5-1 方向性の提案	<p><b>⑤インターンシップコーディネート事業</b>          地元大学等と連携し、市内企業でのインターンシップの仕組みを定着し、地元大学生等の市内企業への就職を促進する。今後も事業を継続し地元等大学生の市内就職を促進していく。</p>	
5-2 論点 (方向性の決定に向け議論する事項)	<p>・ 上記①～⑤の事業継続</p>	
6 結果	<p>■提案どおり進める  <input type="checkbox"/>サマーレビューで審議  <input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める  <input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討  <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p>
		<p>情報発信の手段及び情報の発信先について十分に検討し、効果的な事業のPRを行うこと</p>
7 その他		